

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2010.12.15 No. 93 連絡先 FAX 042-555-1911



## 基地はいらんバイ！ 日本平和大会in佐世保に 横断幕持って参加



**2010.12.3** 朝 6 時、重たい荷物と横田・座り込みの横断幕と傘を持って、雨の中、いざ出発。

8 時 30 分羽田空港ロビーに到着。天候の影響で飛行機の出発も福岡空港到着も遅れましたが、飛行機の揺れもかなりのものでした。

**基地調査行動** 福岡空港からは、貸し切りのバスで佐世保駅前へ。現地の方がバスに乗り、軍港佐世保 100 年の歴史や基地の説明をしてくださる。弓張岳の展望台からは佐世保港がよく見えました。

次は船上から基地を見ました。湾の周囲 8 割の陸地が基地にとられています。制限海域が設けられ、民間人は自由に航行出来ません。米軍貯油所が 3 ヶ所あり貯油量が多い。

写真は上から①米軍基地の中に佐世保市民が生活している佐世保の街の様子。②海上より見た LCAC (エルキャック)。③海上より見た危険度 3 の前畑弾薬庫。(写真提供：練馬平和委員会坂本氏)



**全体集会 I** はアルカスという大きな会場。オープニングは少年



少女合唱団の歌声やよさこい踊り。地元歓迎のあいさつ、来賓あいさつがありました。海外からはアメリカ、韓国、アフガニスタン、フィリピンが参加。

**2010.12.4** 日中は**シンポジウムと分科会**。本当に米軍基地、日米安保は「抑止力」なのか、自衛隊の戦争体制づくりどこまで来たか、など内容は多彩です。が、やはり基地をなくす運動交流の分科会へ。特別報告は、沖縄の歴史と闘いの話、岩国、フィリピン、福岡民医連の沖縄県知事選の応援の報告もありました。

横田基地については、立川の龍田さんが発言。

夜はアルカスで**全体集会 II**、全国と世界の運動の大交流集会。アフガニスタンからの訴えは衝撃的でした。

横田基地の運動について、発言の機会を与えられました。横田基地の撤去を求める西多摩の会を立ち上げたと報告したときは、暖かい連帯の拍手をいただきました。



**2010.12.5** **全体集会 III** は佐世保公園でした。そしてアーケードを**ピースパレード**。いい場所をパレードできると喜んでいたら自衛隊も重装備で行進している写真がありました。昼食休憩は港を散歩。バス、飛行機を乗りついで無事羽田に到着、帰宅したのは 11 時少し前です。初めてで最後になるかもしれない佐世保は思い出深い旅でした。(写真提供：清瀬平和委員会塚越氏) (高橋記)



## 横田基地のC-130 日米共同統合実動演習に参加 6年ぶりに公開 (No. 93 裏面)



陸海空の自衛隊と米4軍が参加した過去最大規模(4万4000人、艦艇60隻、航空機400機)の日米共同統合実動演習「キーン・ソード」(Keen Sword、鋭い剣)が3日から10日まで行われました。

報道によると、在日米軍司令部は6日、横田基地の第374空輸航空団所属のC130輸送機が参加した訓練を報道陣に公開しました。共同統合演習を同基地が公開したのは6年ぶりだそうです。

報道陣を乗せて東京の横田基地を離陸したC130輸送機は海面から300メートルの低空飛行や鋭いらせん上昇など、攻撃を回避するための激しい機動を披露したそうです。午前中は富士山周辺で他の米軍機と編隊を組み、低空飛行する戦略的トレーニングや、上空からの輸送物資の模擬投下訓練を実施。午後は日本海海上の領空内に移動し、自衛隊のF15戦闘機4機と米軍のF16戦闘機8機からなる飛行隊が、敵にみたてた自衛隊機8機から米軍のC130輸送機を守るという想定で訓練が行われました。米軍は報道陣への公開を嘉手納などでも行い、日米同盟の深化をアピールしています。

(写真は米軍HPより、説明は要約しています。左上:12月3日、横田基地 航空自衛隊員に緊急時の手順について説明する米軍の軍曹。左中:12月9日、航空自衛隊小松空軍基地をサポートする空軍パイロット。左下:12月8日、嘉手納基地F15戦闘機に給油。)

### アラスカで起きたC17墜落事故の原因はパイロットのミスと発表

太平洋空軍司令官は、乗員4名の死亡、184,000,000ドルの航空機の破壊、アラスカ鉄道の一部を損壊した2010年7月28日のC17大型輸送機墜落事故について調査を指示していました。

12月10日、事故調査委員会の「事故原因はパイロットのミス」との報告を発表しました。

事故機は、7月31日の週末に予定していたサンダーエアショーのための練習をしていました。パイロットが無理な飛行をし、必要な回復アクションを取ることができませんでした。すなわち、パイロットが確立された飛行パラメータおよび機能の範囲外に航空機を配置し、安全オプザーバを認識したり、危険な状況に対処することに失敗しました。その結果、C17の姿勢、高度、そこから制御飛行への回復は不可能でした。ということだそうです。

11月16日にもアラスカ州でF22ステルス戦闘機の通信が途絶え、翌17日にアンカレジの北約160kmで墜落・炎上した残骸らしきものが発見されました。パイロットは見つかっていませんでした。その後、脱出用の機材が見つかり、脱出できなかつたとの見方が強まっています。

### 横田基地の撤去を求める西多摩の会 日米共同統合実動演習に抗議し中止を要求

12月1日、横田基地の撤去を求める西多摩の会の松山清代表と高橋、渡邊世話人は、福生市に所在する横田防衛事務所に行き、北澤俊美防衛大臣宛の「日米共同統合実動演習に抗議しその中止を要求する」文書を届けました。所長、課長は不在で、森克己・施設第一係長が対応してくれました。今回の演習で横田基地はどんな役割を果たすのか、C130輸送機は参加するのかなど質問しました。が、全く情報がないそうです。しかし福生市から問い合わせが来たので、現在、北関東防衛局に照会しているとのことでした。12月福生市議会で市長は「主だった実動訓練は予定されていないとのことだった」と答弁しています。

